北海道ふるさと納税活用事例集

令和７年３月

はじめに

　北海道は、豊かで美しい自然環境に恵まれ、特有の歴史・文化や気候風土などを有しており、本道ならではの独自性とその魅力を活かしながら、道内１７９の市町村でふるさと納税制度を活用しています。

　ふるさと納税は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」です。

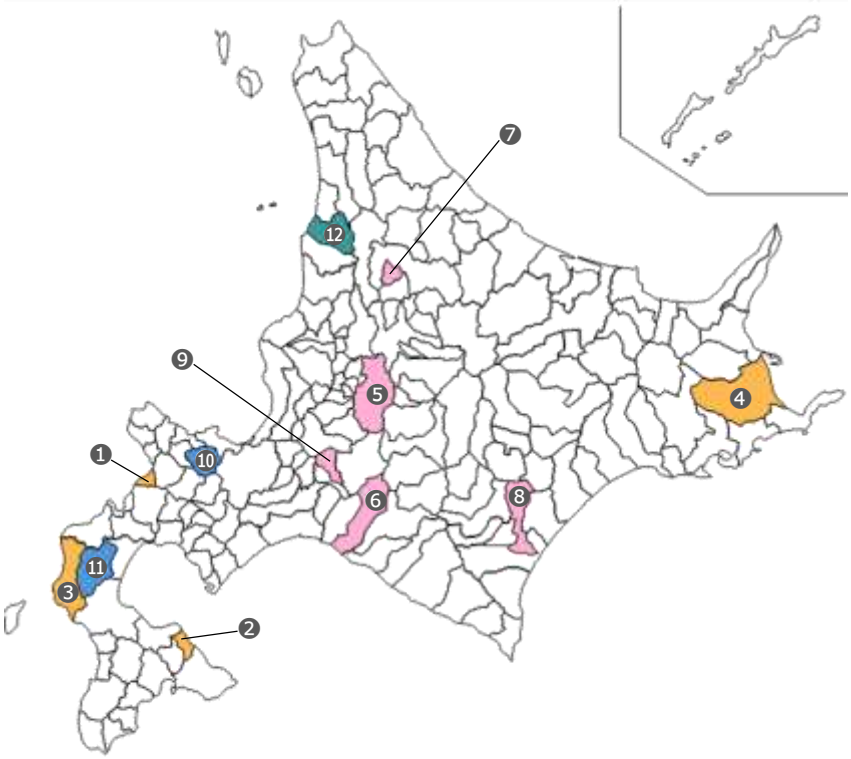
　生まれ故郷に限らず、どの自治体にでもふるさと納税を行うことができ、それぞれの自治体がホームページ等で公開している、ふるさと納税に対する考え方や集まった寄附金の使途等から、応援したい自治体を選ぶことができます。

　本事例集では、道内の各地方自治体がふるさと納税を活用した取組を取り上げ、ふるさと納税をしていただいた方との継続的なつながりを持つ取組となるよう、道内の好事例をご紹介しております。

　ふるさと納税を通じて北海道を応援していただけますよう、お願いいたします。

北海道総合政策部官民連携推進局

目次



地域・産業振興

1 **岩内町** ふるさと納税を通して馬への想いを紡ぐ

2 **鹿部町** 子どもたちにお菓子を我慢させない！しかべ応援券配付事業

3 **せたな町** トラウトサーモン海面養殖試験事業

4 **別海町** 全国の食卓にお届けする水産加工品の開発と魅力の発信

教育・子育て

5 **芦別市** 本市初のインクルーシブ遊具を道の駅に整備

6 **むかわ町** 中高生の学習習慣の定着と学力向上を目指す公営塾

7 **剣淵町** ふるさと納税でつくる絵本の里

8 **幕別町** 東京大学との連携から学ぶキャリア教育と地域貢献

9 **栗山町** 児童センターや子育て支援センターなどの施設運営

まちづくり

10 **赤井川村** むらバス運行に向けて

11 **今金町** 今金町ふるさと応援大使の展示用ショーケース購入

環境

12 **羽幌町** 天売島（てうりとう）の海鳥と自然環境を守りたい！

13 **北海道** 大雪山裾合平 木道再生・植生復元計画

Check!!

▶岩内町

ふるさと納税を通して馬への想いを紡ぐ！

引退した競走馬や乗用馬を受け入れている町内の牧場に対して寄附をする取組です。
（返礼品のご用意はありません）

注力した点や工夫した点

何度も牧場へ足を運び、できる限り寄附者の方々へ事業者の想いを伝えられるようにページ作成を心がけました。

Check 取組の効果

寄附者の方々からたくさんのお言葉をいただくようになり、高額寄附をしていただける方もおります。毎年寄附したいという方もたくさんおり、リピーターや関係人口の増加にも繋がりました。事業者と寄附者の思いを紡ぐ事ができる取り組みだと実感しています。
また、返礼品の送料等がかからないので経費対策としても大変助かっております。

▲2024年9月現在で60頭弱の馬が牧場で暮らしてます。

▲原則昼夜自由に放牧してます。

▲ブラッシングや検温は毎日全頭に行っています。

▲施設内には牧場で余生を終えた馬たちの写真が飾られています。

【住民の声】
・ふるさと納税の本来あるべき姿だと思います。
・町内にそのような施設があるとは知りませんでした。

【寄附者の声】
・お馬さん達の余生が幸せでありますように。
・引退馬ってみんな幸せに暮らしていると思っていました。
・ふるさと納税にも引退馬支援の選択肢があると知り寄附をすることにしました。

Check!!

▶鹿部町

子どもたちにお菓子を我慢させない！物価上昇による買い控えを食い止めたい

長期化する物価高騰の影響により落ち込む地域経済の活性化を図るため、「しかべ応援券配布事業」を鹿部商工会と連携して実施しました。

・対 象 者 ▶ 令和５年１２月５日時点で住民基本台帳に登録されている鹿部町民
・配布数量 ▶ 一人当たり一枚額面５００円の商品券を１２枚

事業自体はこれが第４弾の実施で、ふるさと納税を充当したのは今回が初めてとなります「今年は配布してくれますか」という問合せもあるほど、住民の方への認知や期待度は高い事業となっています。

注力した点や工夫した点

この取組には「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」も充当しており、実施決定が令和５年１２月でした。役場の担当課はふるさと納税担当課でもあり、そちらの繁忙期とも重複したため、職員を分散しながら進めました。充当事業の多くは派手さはなく地味かもしれませんが、寄附者様からの意向に沿えるよう、堅実な事業に活用できるように心がけています。

Check 取組の効果

国の交付金とふるさと納税で得られた資金により、しかべ応援券を3,574人、1,859世帯へ配布することができました。

応援券の使用期限は令和６年７月中旬までで、換金率は５月末時点で90.9％を超えております。飲食店利用の好機にもなった様で、ただ日頃の買い物で支払うのが現金の代わりに応援券になっただけではなく、町外への消費流出防止についても一定の効果があったものと考えられます。

利用者アンケートの中では「食費節約のため、子供のお菓子や飲み物などを買うことが少なくなっていた、大変助かります」というご意見もいただいております。

▲しかべ応援券

▲しかべ保育事業「ひよこ」おやつは持参です。

【住民の声】
・食品、電気代が高くなりびっくりしています。そんな中、この応援券は大変嬉しいです。
【寄附者の声】
・地域産業の発展を願っています！

Check!!

▶せたな町
トラウトサーモン海面養殖試験事業

せたな町久遠漁港にて「ひやま漁業協同組合大成支所大成養殖部会」によるトラウトサーモン海面養殖試験事業に対し、事業費の一部を補助し、消費者ニーズの高いトラウトサーモンを安定的に養殖できる技術を確立し事業化を目指しています。

注力した点や工夫した点

漁港の閑散期である冬期間の海面水域の活用及び冷水環境に適した魚類を飼育し（11月～6月）漁業所得の向上並びに地域の活性化を図る取り組みとして事業化の可能性を見極めています。

Check 取組の効果

荒天の多い冬期間でも漁業所得につながる事業として期待されており、成果品（出荷物）も加工場のみならず町民直売や町内店舗にて小売りされ事業成果を町全体で感じることができており、食味も高く評価されています。

▲養殖生簀から「トラウトサーモン」を水揚げ

▲サイズごとに選別します。

▲鮮度を保ちながら出荷準備

▲町民への販売分や町内の飲食店用を準備します。

▲まちの人が列を作り買い求めます。

▲お刺身や様々な料理でいただきました。

【住民の声】
・美味しいトラウトサーモンが地元で生産されて、町民が購入できるこの事業は今後も実施してほしいです。

地域・産業振興

Check!!

▶別海町　全国の食卓にお届けする水産加工品の開発と魅力の発信

秋サケ漁の凶漁、ホタテ貝の高騰、労働者不足など、事業者の経営環境が悪化しました。とりわけ、秋サケ漁は、ピーク時の１０分の１の漁獲高にまで低迷し、かつ、北海道で最も不漁の地域となっています。当然にして、漁獲高の回復の試みは地域を挙げて各種施策に取り組んでいるものですが、飛躍的な向上が見通せない状況です。

そこで、付加価値が向上し地域経済に寄与する加工業を強化するため、これまで加工をしていなかった漁師が、新たに加工を手掛けるような取組みも含めて、水産加工業者が導入する加工力が向上する機器の導入費を支援し、また、町として新たなサイトを構築することで、生産地の魅力を発信し、ブランディングに取り組みました。

注力した点や工夫した点

寄附金の見込みを推計し、寄附者の意向に沿えるよう、令和５年度当初から事業化を検討し、令和５年度後半から令和６年度にかけて速やかに事業化しました。

Check 取組の効果

本町は、全国の町村で初となる「中小企業振興基本条例」を平成２１年に制定し、制定当初から、それまで光が当てられていなかった水産加工業者への支援を振興方針に掲げたものの事業化できていませんでした。

また、屈指の生産地であるがあまり、BtoBが主体でした。しかし、今回の事業により、BtoCの流通活性化が強化されて、浜の後継者不足や水産経済の低迷などの課題解決を大いに期待しているところです。

▲サバの加工の様子

▲ホタテ貝の加工の様子

▲秋サケの加工の様子▲

【住民の声】
・先が見えない経営不安だったが、新たな加工品の開発に取り組めるきっかけとなりました。
【寄附者の声】
・引き続き、北海道産のおいしい産品を届けてほしい。新たな品も楽しみにしています。

Check!!

▶芦別市

芦別市初のインクルーシブ遊具を道の駅に整備

芦別市では少子高齢化が進む中、移住・定住対策の促進や子育て環境の充実に力を入れながらまちづくりを進めています。

年間の半分近くが積雪等による影響で公園の遊具は使用できないため、子ども達は春の訪れを毎年楽しみにしています。

そうした中、市内で最も利用されてきた「道の駅スタープラザ芦別」の木製コンビネーション遊具が設置後３０年を経過し、老朽化が進んだことなどから撤去となり、本市初となるインクルーシブ遊具を含むコンビネーション遊具の整備について検討を進め、この度、令和５年度に新設することとなりました。

注力した点や工夫した点

年齢や障がいの有無にとらわれず、たくさんの子どもが遊ぶことの出来るインクルーシブ遊具を交流拠点である道の駅に整備することで市内の住民に関わらず市外の観光客の利用も図り、まちの賑わい創出も期待できるものとしました。

Check 取組の効果

オープニングセレモニーには100名以上が参加し、その後も市内在住の子どもたちや道の駅に立ち寄った親子が利用するなど大きな賑わいが生まれました。

▲着工前に市内保護者への説明と意見交換を実施

▲当日は200名以上が来場。大きな賑わいをみせた。

【住民の声】

・市内は幼児向けの施設が少なく、遊ばせられるところが少ないので新しく大型遊具が設置されるのはとても嬉しいです。

【寄附者の声】

・子どもの声がする、活気ある街づくりに役立てて頂ければと思います。

教育・子育て

Check!!

▶むかわ町

中高生の学習習慣の定着と学力向上を目指す公営塾

町内高校生及び中学生を対象として、日常的に学習を受けられる環境を提供することにより、これからの地域・社会を担う人材の育成を進め、放課後の居場所を提供しています。

町内に学習塾がなく、車で近隣市まで送迎している保護者の時間的・経済的負担を軽減するだけでなく、家庭の経済状況に左右されず、だれでも利用できるよう無償で開放しています。

注力した点や工夫した点

生徒が気軽に訪れることができる環境づくりをしています。

高校１年生全生徒での見学実施により環境のイメージ作りを図っています。

Check 取組の効果

高校生への希望進路実現に向けた相談を受け、受験に沿った指導を進めることにより志望大学への合格することができました。また、中学生の放課後学習習慣の定着化を図ることができました。

▲公営塾（教室）入り口。公民館の空き部屋を活用。

▲進学希望の高校生利用時の様子

▲塾にある参考書や過去問を自由に利用できる。

▲北欧の短期留学生と一緒に七夕の短冊づくり

【住民の声】

・むかわの中高生が夢に向かって、勉強だけでなく、友だちと切磋琢磨する環境が整備されました。経済的負担もなく、助かっています。

【寄附者の声】

・未来を担う、むかわ町の子どもたちが、地方というハンデのある環境でも自分の夢を諦めず頑張れるよう応援しています。

Check!!

▶剣淵町

ふるさと納税でつくる絵本の里

剣淵町は、絵本でまちづくりをしています。町内施設「絵本の館」では世界中の絵本約４万冊を収蔵し、全国への貸し出しも行っています。「絵本の館」では、絵本原画展、読み聞かせ、絵本づくり、体験事業など様々な活動のほか、来館者の投票によって賞を決定する「けんぶち絵本の里大賞」を開催。毎年８～９月の二ヶ月間、全国の絵本作家出版社から広く絵本を募集し、期間内に絵本の館を訪れた人達の投票で「絵本の里大賞」が選ばれます。３月上旬には「けんぶち絵本まつり」が開催され、受賞者の絵本作家さんをお招きし様々な催しが行われます。こころから絵本を愛する人々のお祭りとして親しまれ、絵本を通したまちづくりの輪を全国に大きく広げています。

注力した点や工夫した点

ふるさと納税の募集にあたっては、通常の寄附のほか、絵本の館に好きな本を寄付できるというメニューを設け、取り組みへの理解を深めてもらえるよう工夫しました。

Check 取組の効果

ふるさと納税の寄附によって、多くの絵本・児童書を購入することができました。また、「絵本の里大賞」はもちろん、全道179市町村の子どもたちに絵本を読み聞かせる取組、「エホンキャラバン179」など町内外の人を巻き込んだイベントの費用にも充てることができました。イベントの様子はふるさと納税ポータルサイトや町のホームページなどで報告しており、町民の豊かな心を育むと同時に剣淵町のファンを増やしていくことで、町の活性化につなげています。

▲町内施設「絵本の館」

▲「エホンキャラバン１７９」の様子▲

▲絵本の里大賞受賞作品

▲絵本の里大賞受賞式の様子

【住民の声】
・絵本の里づくりを通して、若者・子供達が剣淵に住みたいと思えるような明るい町になってほしい。

【寄附者の声】
・２年前に絵本の館に魅了されて以来、剣淵町のファンです。地域のお子さんたちがのびのび過ごせるよう応援しています。

Check!!

▶幕別町

東京大学との連携から学ぶキャリア教育と地域貢献や効果的な生徒会活動のあり方

幕別町では、東京大学と連携して、高校生が幕別町のことについて、取材や調査を行い、高校で実践している地域貢献活動の事例を提示して高校生が地域でできることをテーマに議論をする取組を行っています。若者が考えるアイディアや構想に対して、東京大学教授の牧野氏から地域活性化に係る事例についてご教授、アドバイスを頂き、今後の活動に活かしていくという構想で実施しています。また、連携を機会に多くの町内小中学校の児童生徒や保護者の方に幕別清陵高校の取組を知ってもらうことや、地元の小中高の教職員同士の交流を図ることで、地域への意識や互いの校種への認識に変化が生じるのではと予想しています。

注力した点や工夫した点

今回の取組が、幕別清陵高校の生徒に、地域における若者や学校の役割などについて考える機会であることを強く意識させ、東京大学の学生とできる限り多くの時間を交流してもらえるように構成しています。

Check 取組の効果

地域活性化は基より自分の生きていく方針についてビジョンを持つことや挑むことを続けている大学生の姿は、学力は違えど、自分らしく生きる人生のモデルとして非常に教育効果が高いと感じています。

生徒の人生のライフプランや大切にしたい価値観などを含めた未来像を描くことができ、大きなパフォーマンスと成果を作り出していると考えています。

▲東京大学教授と学生、青陵高校学生と

▲東京大学教授　牧野氏

▲各グループの代表が発表している様子

▲ 東京大学の学生とのグループワークの様子 ▲

【住民の声】

・ふるさと納税のおかげで、幕別清陵高校が目指す小中高連携の強化や地域とつながる基盤を作る機会の創出に繋がりました。

【寄附者の声】

・幕別町の将来を担うこどもたちを応援しています。

Check!!

▶栗山町

児童センターや子育て支援センターなどの施設運営

「栗山児童センター」や「放課後児童クラブ」の運営を通して、児童の居場所づくりや遊び・生活を通じた人間関係の基礎づくりを推進しています。子育て支援センター「スキップ」では、小学校入学前の子どもたちが自由に遊べる大型遊具や木のおもちゃ、絵本などを取り揃えているほか、専任の保育士が保護者の方の子育ての不安や悩みについての相談も行っています。

注力した点や工夫した点

子育て支援センターでは生後1ヶ月の赤ちゃんがいるご家庭へ保健師だけではなく保育士も同行し訪問しています。健康を含めた子育てのことなど、お母さんが抱える心配事を一度で解消できます。

Check 取組の効果

一度、顔合わせをすることでセンターを気軽に利用してもらえるというメリットもあります。顔が見える関係性づくりを行い、よりよい子育て環境を目指しています。

▲同年齢のお友達と親子で遊べるお楽しみ会

▲妊娠期に夫婦で参加できるパパ・ママクラス

▲スキップ子育て講座

▲育児サークルまめっこのクリスマス会

▲託児ボランティアの活動

▲スキップ施設内部

【住民の声】

・子育てに関する悩みを相談できる。移住してきて知り合いがいなかったが、お母さん同士の友達もできてうれしかったです。

Check!!

▶赤井川村

むらバス運行に向けて

北海道中央バスの撤退による、公共交通の空白を解消するため、赤井川村が運行主体となり新しい公共交通を担うこととなりました。

注力した点や工夫した点

ガバメント・クラウドファンディングに初めて取り組み、車両購入財源を確保しました。

Check 取組の効果

①新しい雇用の創出
乗務員の新規雇用、村内事業者との連携をしました。
②運行路線の拡大
地域要望を踏まえ、路線拡大を実現しました。
③通学利便性の確保
ダイヤ改正により通学範囲の拡大を実現、アプリによるバス位置情報を提供、待ち時間調整が可能となりました。
④バス運賃の自主的な決定
利用者負担の軽減するなどの効果がみられました。

▲むらバス車両。ナンバーは「６１０」。開村記念日である６月１０日から引用。

▲利用者は学生や高齢者が中心。

▲運行路線がキロロリゾートまで拡大。リゾートで働く外国人従業員や観光客も利用している。

【住民の声】
・隣町から赤井川村に帰ってくるとき、「むらバス」に乗ると赤井川村に帰ってきた気分になる。むらバス内には、赤井川村の空気が流れている。
・むらバスを利用して、友達と隣町まで遊びに行ったり、スキーに行ったりしています。運賃が安く、バスダイヤも使いやすくとても便利です。
・利用者と仲良く楽しくコミュニケーションをとっています。縁もゆかりもない地で、利用者に喜んでもらえる地域密着の仕事をすることができてうれしく思います。（乗務員）
【寄附者の声】
・北海道出身です。特に冬時期のバスの重要さは身をもって知っています。住民の皆様の生活が快適になりますよう、微力ながら応援しています。
・ふるさと納税の本質とは何かを考えさせられました。取組に賛同いたします。

Check!!

▶今金町

今金町ふるさと応援大使の展示用ショーケース購入

今金町では、ふるさと応援大使として7名の方に町のPR等をお願いしています。その中の一人、登山家（故）栗城史多氏の遺品等を展示するために、ショーケースを購入しました。

注力した点や工夫した点

実際に使用していた衣服等を間近で見れるようガラスのショーケースを作成しました。

Check 取組の効果

これまで見ることのできなかった、栗城史多氏の遺品等を間近で見ることができ、これまでの功績等に触れることができる場面を提供しました。

▼今金町民センターにて掲示中の様子▼

▲町内温泉施設「あったからんど」にて掲示中の様子

【住民の声】
・栗城氏の実際に使用していたものを間近で見ることができ、登山にかける思いを実感しました。
【寄附者の声】
・これまでの栗城氏の功績を称えたいです。

環 境

Check!!

▶羽幌町

北海道・天売島（てうりとう）の海鳥と自然環境を守りたい！

北海道北部、日本海に面した羽幌町の沖合にある天売島は、ウミガラス（オロロン鳥）をはじめ、ケイマフリやウトウなど８種類約１００万羽の海鳥が繁殖する「海鳥の楽園」ですが、近年になり一部の海鳥が減少しています。

本プロジェクトは、地域の宝である海鳥たちを守るため、海鳥を取り巻く地域の自然環境や生物多様性を、多くの人が参加して守る仕組みを作るための具体的な取組として、①天売島の自然環境と生態系の保全、②シーバードフレンドリー認証制度の推進、③海洋プラごみの削減、④環境教育を進めました。

注力した点や工夫した点

海鳥保護は１年単位の短期間で終わるプロジェクトではないため、地域内外の多くの人が継続的に参加して守る仕組みづくりを工夫しました。また、GCFに継続的に寄付してもらうことで、海鳥保護の応援人口、関係人口の増加に注力しています。

Check 取組の効果

①天売島の自然環境と生態系の保全では、海鳥のヒナを襲う野良猫を島外に搬出して、人が飼えるように馴らし、飼い主を募集して譲渡する取組を実施してきました。これまでの取組で１２６匹の野良猫を譲渡することができ、減少していたウミネコが新たな繁殖地をつくり、個体数の回復につながりました。

②シーバードフレンドリー認証制度の推進では、海鳥保護に直接つながる新認証基準を作ることができました。また、首都圏でのPRを進めることができました。

③海洋プラごみの削減では、海岸清掃を続けたことでハマヒルガオの群落が回復するなどの効果がみられました。

▲国内では天売島のみで繁殖するウミガラス

▲羽幌高校との連携授業（マイクロプラ調査）

▲自然環境に配慮した特別栽培米作り

【住民の声】

・海鳥を守る米作りは大変なことも多いため、寄付者からのメッセージが励みになります。

【寄附者の声】

・海鳥の繁栄がうまくいき、産業も安定し人々が集まる羽幌を期待しています。

・海鳥と共生する地域づくりを応援します。

環 境

Check!!

▶北海道庁

北海道大雪山の貴重なお花畑を守りたい！

大雪山裾合平（だいせつざん すそあいだいら） 木道再生・植生復元計画

裾合平と呼ばれる日本で一番広大なチングルマのお花畑。アイヌの人々はカムイミンタラ（神々の遊ぶ庭）と呼び畏敬や畏怖の対象として崇めてきました。その場所に木道６００ｍが作られて３０年が過ぎ、今ではほとんどの木道が崩れてしまい、交換や追加設置が必要となっていました。

このクラウドファンディングは、一般登山者と山岳関係者、行政が協働で行う保全の取組と、大雪山の魅力を発信するプロジェクトです。"みんな”で守る大雪山の取組に欠かせない存在である「大雪山・山守隊」との協働により整備を行うための資材購入、また、整備イベントの費用の一部に充てさせていただきます。

注力した点や工夫した点

木道すべてを交換し、泥濘した場所に追加設置するには、通常はヘリコプターを使って資材を運び作業しますが、その場合、数千万円が必要です。スノーモービルで資材を運び、ボランティアにより少しずつ木道を交換しながらグレーチングを追加し、同時に植生復元を目指しています。

Check 取組の効果

2022年から、この裾合平を植生復元し、登山道の荒廃を止めるために、みんなが参加できる登山補修イベントを開催しています。イベントは夏の時期に開催され、崩れた木道を撤去して新しい木道を設置し、歩道下にも植物が繁茂できるように、木道の代わりにグレーチングを敷き、歩道の周りの植物が戻ってくるようにヤシネットを使った植生復元施工をします。撤去廃材の荷下げなどは、冬にスノーモービルで運搬することで、費用を押さえています。

▲裾合平のお花畑

▲グレーチングの組み立て

▲モービルでの資材運搬

【住民の声】

・山を歩けば歩くだけ山を傷つけることにつながると考え心を痛めている登山者は私だけでなく、多くいらっしゃると考えます。今回の取組が心を痛めながらも「どうしてよいか分からない」と考えている人々をつないだり、登山道保全のために力を貸したいと考えている人の参加を促したりするきっかけになると嬉しいです。

【寄附者の声】

・大好きな大雪山。裾合平のチングルマのお花畑は日本一と思っています。
微力ながらお手伝いできたらと思いました。